

クラウドシアホールディングス (コード 3607)

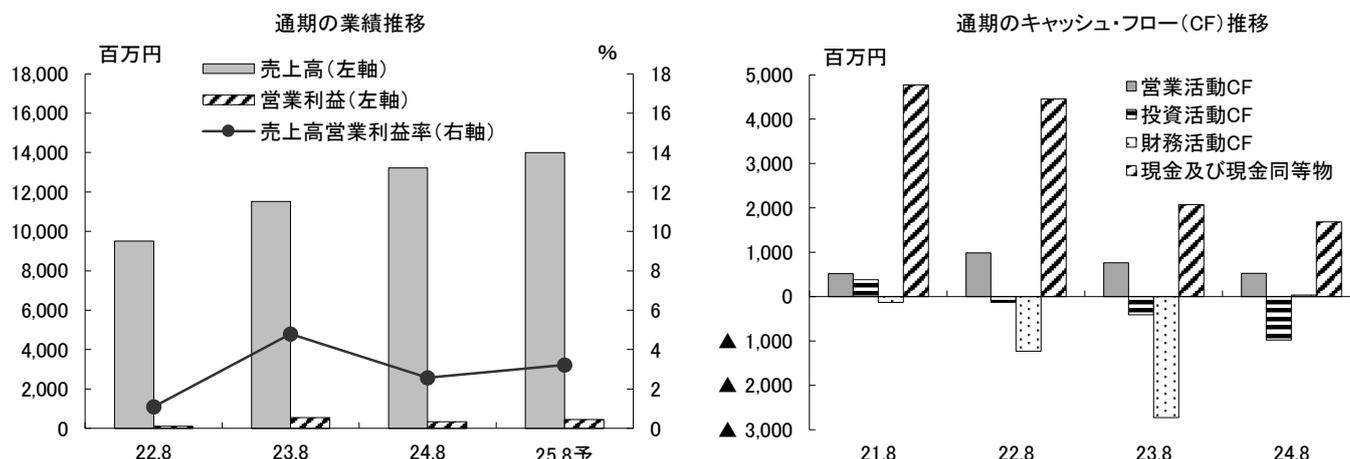
◆通期業績推移(連結) (25.8 予は会社側発表値)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.8	9,507	104	93.2	3.0	989	▲133	▲1,234	4,455
23.8	11,521	553	63.2	7.0	761	▲409	▲2,731	2,077
24.8	13,219	341	21.5	予 10.0	526	▲979	36	1,685
25.8予	14,000	450	38.9	10.0	—	—	—	—

◆各決算期中の中間期業績推移(連結) (25.8 予は会社側非開示のため表記しない)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.8	4,149	▲245	8.0	0.0	199	▲18	▲616	4,355
23.8	5,799	534	59.6	2.0	666	▲132	▲610	4,367
24.8	7,027	695	71.0	3.0	710	▲476	1,013	3,317

(CF=キャッシュ・フロー。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円)



24年8月期の業績概況…24年8月期は、全事業が好調に推移したことから、売上高が前年に比べて約15%増加した。一方、原材料価格の高騰や人件費の上昇に加え、二条丸八(京都府木津川市)、ブライダルハウス島田(宮崎市)を子会社化したことによる費用増などから、営業利益は約38%減少した。1株当たりの年間配当金は10円を予定している。

当期の業績は、売上高132億1,900万円(23年8月期比14.7%増)、営業利益3億4,100万円(同38.3%減)、経常利益3億8,800万円(同37.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益(以下、当期純利益)1億9,200万円(同65.7%減)で、税金費用の増加などにより、当期純利益については営業利益及び経常利益を上回る減益率となった。

事業部門別売上高は、ホールセール事業部門32億8,100万円(同42.1%増)、コンシューマー事業部門99億3,700万円(同7.9%増)となった。ホールセール事業部門のうち、製・商品売上高が16億8,400万円(同48.9%増)、レンタル収入等が15億9,700万円(同35.5%増)。また、コンシューマー事業部門のうち、衣取取扱収入が29億8,200万円(同5.7%増)、リゾート拳式売上高が17億600万円(同22.1%増)、式場運営収入が29億3,600万円(同3.0%増)、写真・映像・美容等売上高が23億1,100万円(同7.9%増)となった。

ホールセール事業部門において、製・商品の受注高は15億5,700万円(同0.7%減)に、受注残高は4億6,400万円(23年8月期末比37.4%減)になった。コンシューマー事業部門にお

いて、式場運営収入では、前年に好調だった天満宮会館の受注が一服したことなどから、受注組数は814組（23年8月期比37組減）、施行組数は837組（同21組減）に減少したものの、フレンチレストラン「ソンプルイユ」の運営開始によって受注残組数は621組（同38組増）に増加。販売単価の見直しによる1組単価のアップ（同5.6%増）も奏功し、式場運営収入の拡大につながった。

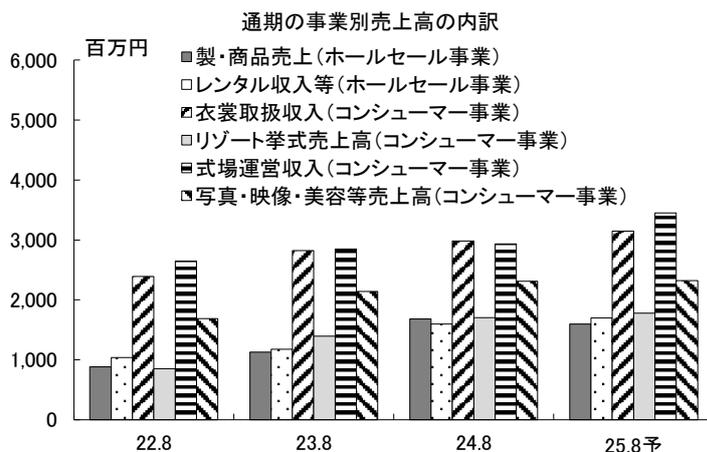
利益面では、23年8月期比で売上原価が32.8%増となり、売上原価率は22.9%（23年8月期は19.8%）に上昇。販売費及び一般管理費は13.4%増となり、対売上高比率が74.5%（同75.4%）に縮小したが、売上原価増の影響が大きく、売上高営業利益率は2.6%（同4.8%）に低下した。

キャッシュ・フロー（以下、CF）の状況については、当期末の現金及び現金同等物残高は16億8,500万円（23年8月期末比18.9%減）となった。営業活動によるCFは、税金等調整前当期純利益4億3,100万円（23年8月期比20.9%減）、減価償却費3億4,200万円（同26.2%増）、法人税等の支払額1億300万円（同151.2%増）などにより、5億2,600万円の収入（同30.9%減）になった。投資活動によるCFは、有形固定資産の取得による支出4億1,600万円（同14.9%増）、事業譲受による支出2億6,400万円（23年8月期は無し）、子会社株式の取得による支出2億8,500万円（同無し）などにより、9億7,900万円の支出（23年8月期比139.4%増）になった。財務活動によるCFは、配当金の支払額6,900万円（同56.8%増）、長短借入金の借入れ及び返済による差引収入1億1,700万円（23年8月期は長短借入金の返済による支出26億8,600万円）などにより、3,600万円の収入（同27億3,100万円の支出）になった。

なお、24年8月期末の有利子負債残高は58億3,400万円（23年8月期末比6.6%増）に増加したものの、有利子負債比率は45.5%（23年8月期末は46.0%）へ低下している。

25年8月期の業績見通し…25年8月期の業績については、売上高140億円（前期比5.9%増）、営業利益4億5,000万円（同31.7%増）、経常利益4億3,000万円（同10.7%増）、当期純利益3億5,000万円（同81.8%増）の見通しで、1株当たりの年間配当金は10円の予定。

事業部門別の売上高予想は、ホールセール事業部門33億円（同0.6%増）、コンシューマー事業部門107億円（同7.7%増）。また、ホールセール事業部門のうち、製・商品売上高が16億円（同5.0%減）、レンタル収入等が17億円（同6.4%増）、コンシューマー事業部門のうち、衣裳取扱収入が31億5,000万円（同5.6%増）、リゾート挙式売上高が17億8,000万円（同4.3%増）、式場運営収入が34億5,000万円（同17.5%増）、写真・映像・美容等売上高が23億2,000万円（同0.4%増）。製・商品の受注高は16億5,000万円（同5.9%増）、式場施行組数は956組（同119組増）、式場受注組数は1,012組（同198組増）の見込みとなっている。



本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。